

唐倉山

M・T

期 日：5月17日（水） 晴れ

コース：唐倉山登山口9：40→天邪鬼（でいたんぼう）の足跡10：18→見晴台11：09→飛びつき岩11：23→唐倉山山頂11：51～12：04→下りの千年松12：14→下りの万年松12：27→唐倉山登山口13：05

参加者：M・T

報 告：



岩山なので雨天・積雪時は入山を控えてくださいと説明版に有った。

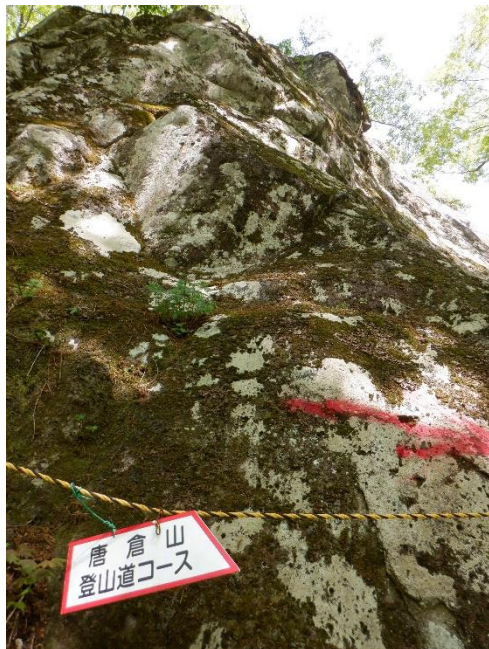
登山口から見る唐倉山。写真の左手から回り込み尾根を歩き右手の尾根から下山してくる。登りと下りのコースが決まっている。理由は下山後に分かった。



足元にハルリンドウ



この付近迄は頻繁に登山コースの案内板有り。



岩を巻きながら幡岩を目指す。指導標が無ければわからない天邪鬼（でいたんぼう）の足跡



岩のくぼみが足跡！

厳しい登りが続く。



何処に出るのか！
あそこが幡岩？



直登。

イワウチワの群落。写真撮っている場合では無い。



岩の赤ペンキを目印に進む。



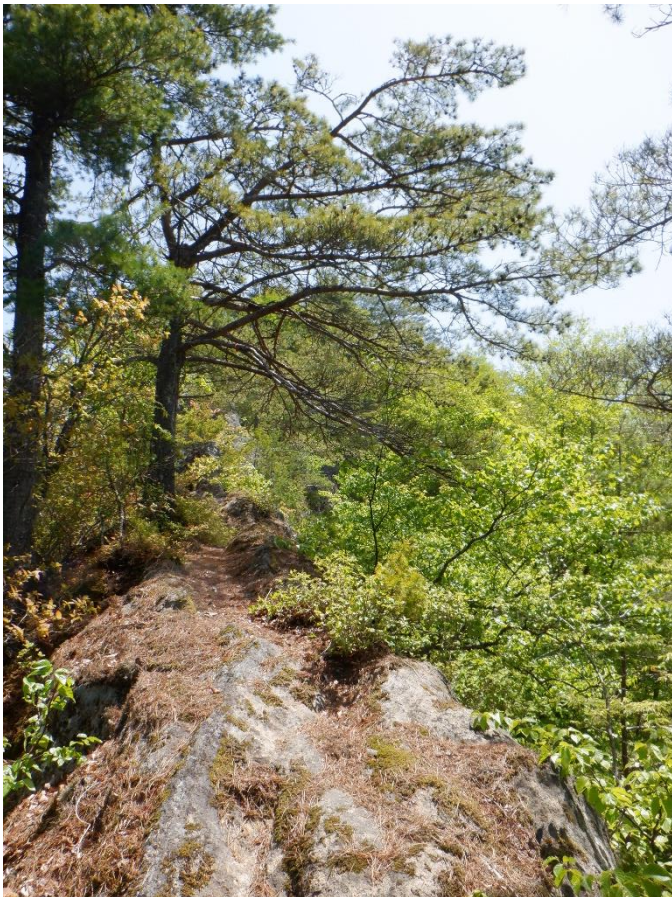
左側は切れ落ちている。



見晴台。痩せ尾根上なので注意。
眺望は良い。



見晴台からの眺め。山座同定が出来ない自分が寂しい。

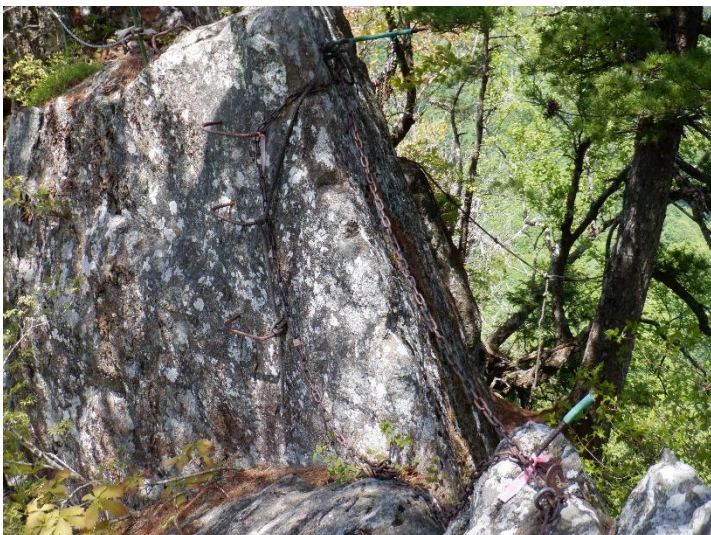


岩稜の痩せ尾根を行く。

木の枝に括りつけられた飛びつき岩の標識
目の前に

切れ落ちた岩が有るが先が全く分からない。
ここで引き返したいと気持ち弱くなるが登っ
て来た厳しい岩尾根を引き返すのも辛い。思い切
って信頼しづらい細い鉄棒に力を入れずに掴ま
り下に足を向ける。

降りてみれば短い距離でしっかり足場も有るの
で大丈夫だった。



振り返っての写真。
下が見えない恐怖を味わった。



少し歩いてまた振り返る。怖かった！

今回のハイライト飛びつき岩を越えてもこんな感じの登山道。



やっと山頂。山頂標識も岩に架けられていた。



三等三角点（国土地理院設置）

主三角点とは、明治時代農商総省山林局が測量の為設置。今回初めて知った。

山頂で不得意な山座同定をコンパス片手に楽しんで直ぐに下山にかかる。



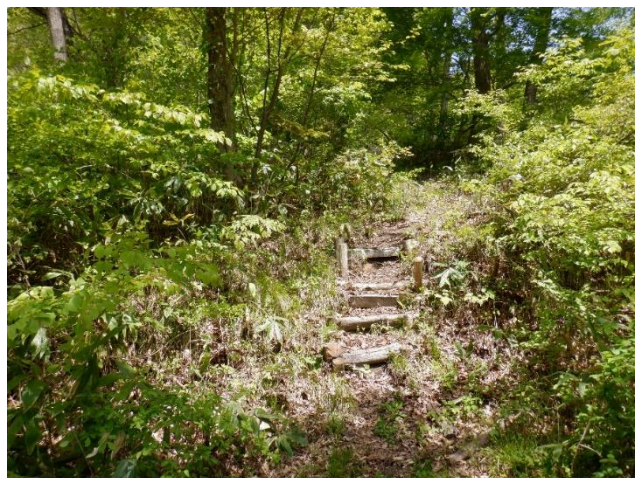
山頂には二つの三角点標石が有った。こちらは主三角点。



下山道も下りの万年松を過ぎるまでは厳しい下りが続いた。



傾斜が緩やかになっても落ち葉が道を覆い隠し踏み跡が見えない。



登山開始の初めに見送った分岐に戻った。

1175m と小さな山だが修験道の霊場になっている信仰の山。通り過ぎてきた岩にはそれぞれ名前がついているらしいが、何が何かわからなかった。低山だが、気が抜けない厳しい山だった。

登りと下りのルートが決まっている訳は登山道にすれ違いが出来ない岩場が多く有るからだった。譲り合うにもどちらかがかなり長く戻らなければならず危険が伴う。

出発時には登ることだけを考えていて気が付かなかった登山道入り口は広場になっていて桜の樹が何本か植樹されていた。登山道入り口に有る水場と水芭蕉。誰にも会わない山行だった。

